

NO. 185

2008. 11. 15.

社会福祉法人 大阪市知的障害者育成会

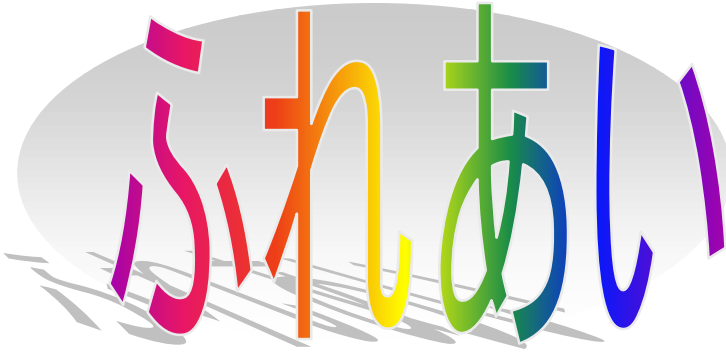
(別名 大阪市手をつなぐ親の会)

大阪市天王寺区東高津町 12-10

大阪市立社会福祉センターB1F

発行責任者 笹野井 庸夫

TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623



第八回大阪市知的障害者育成会大会 開催!

平成二十年十一月一日(土)、大阪市中央区のドー
ンセンター七階ホールにおいて開催され、総勢二百
十三名のご参加をいただきました。

大阪市長をはじめ多くの方々からご祝辞を賜り、
また、多くのご来賓をお迎えして式典が盛大に行わ
れました。その後、全日本手をつなぐ育成会の副島
理事長からの中央情勢報告、続いて白ゆりコーラス
をはさみ、『住み慣れた街・地域で暮らすために』と
いうテーマでシンポジウムが行われました。

第八回大阪市知的障害者育

成会大会に参加して

石田 裕子



第八回大阪市知的障害
者育成会大会が十一月一
日、ダウンセンターにて行
われました。

当日は多くの来賓を迎
えての式典、中央情勢報告
白ゆりコーラスのお母さ
んのステージ、シンポジウ
ムとすすみました。

っているか。③障害者が安
心して暮らすことのでき
るまちづくりは進んでい
るか。育成会活動を進める
うえで、たえず、この三点
をチェックしなければな
らないとのことでした。

シンポジウムは、桃山学
院大学准教授松端克文様
をコーディネーターに、テ
ーマは「住み慣れた街・地
域で暮らすために」で進め
られました。パネリスト一
人目は(社福)しが夢翔会
理事長久保厚子様。夢翔会
は入所支援施設ステップ
広場ガルを中心に多岐に
わたる活動をされ、ガルは
大津市の社会資源、地域の
拠点となる場を目指し「能
力にとらわれない支援」を
実践されています。これを
支える頼もしい職員さん
の存在もうれしく語られ
ました。続いてのパネリス
トは広島県因島の(社福)
若葉の常務理事としての

副島様。「ゆりかごから墓
場までを地域で支える」を
掲げ、二〇〇一年には障害
のある人とその高齢の親
が一緒に暮らすファミリ
ーマンションを持つ支援
センターを開設、本人主体
の福祉、ファミリーサポー
トを目指されています。
一歩先の成長を目指し、
できない所を克服してい
く。親がやらねば誰がや
る!

しかし親が支援するの
が当り前と考えるのでな
く地域支援に移行してい
く努力をする。いつまで親
が見るか?それが大きな
課題です。
久保さんが最後に引用
された糸賀一雄氏の言葉。
「この子らに光を」ではな
く「この子らを世の光に」
久しぶりにうかがった福
祉の原点でした。ありがと
うございました。

中央情勢報告では全日
本手をつなぐ育成会理事
長副島宏克様から、障害者
自立支援法は本場に「自立
を支援する」法律なのか?
自立を阻害する要因は断
固改正を求めらるべきであ
る、との報告がありました。
障害者福祉のチェックポ
イントは以下の三点です。
①障害者福祉は地域の問
題となっているか。②障害
者福祉が「特別な人達の福
祉」から「普通の国民」と
して認められる内容にな

るべきか。③障害者が安
心して暮らすことのでき
るまちづくりは進んでい
るか。育成会活動を進める
うえで、たえず、この三点
をチェックしなければな
らないとのことでした。